

事務事業評価シート

H28(標準事業)

①基本事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部
	03129-1	障がい児支援事業	室名	子ども総合センター子ども家庭室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 一般会計
	基本施策	02:子育て支援	務	款 民生費
施策体系	施策の方向	02:すべての子育てを支援するしくみづくり	科	項 児童福祉費
	戦略プロジェクト		目	目 保育所費

②目的・概要	対象	保育所に入所している障がい児
	目的	保育所に入所する障がいのある児童が他の児童との生活を通して共に成長できるよう、一人ひとりの児童の発達過程や障がいの状態を十分把握し、適切な環境の下で過ごせるよう支援する。
	概要	障がいのある3歳未満児には加配保育士を、3歳以上児には介助員を配置し、一人ひとりの児童に応じた適切な支援を実施する。また、より良い環境で教育・保育が提供できるように施設を修繕するとともに、必要な備品を購入する。

		27年度	28年度
①	名称	障がい児加配の保育士数	計画値
	補足		実績値
			単位
②	名称	障がい児加配の介助員数	計画値
	補足		実績値
			単位
③	名称	保育所に入所する障がい児の人数	計画値
	補足		実績値
			単位
④	名称		計画値
	補足		実績値
			単位

年度計画				年度実績				
④事業の計画・実績				保育所に入所する障がい児の人数 43人 (軽度) (中度) (重度) [計] 3歳未満児 0人 2人 2人 4人 3歳以上児 23人 11人 5人 39人 合計 23人 13人 7人 43人 加配の保育士数 4人 加配の介助員数 43人				
	事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	732
		国庫支出金				費	一般職員人件費 ②	732
		県支出金					所要人員 ③	0.10
		地方債					臨時職員人件費 ④	
		その他		12,579	12,579		⑤	
		一般財源		28,112	28,062	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額						
		総人件費		①	732			
	総コスト		⑥	41,373				

⑤事業の評価	【事業の成果】	事業の実施により、障害のある3歳未満児に対しては加配保育士、3歳以上児に対しては介助員を配置し支援を行った。また、児童の状況に応じて、施設の改修を行うとともに必要な備品を購入し、障がいのある児童が保育所で安心して過ごせる環境を整備することができた。こうした取り組みを通じて、4名の児童については前年度よりも配置基準が緩和されるなど、一定の効果を見ることができた。	総合判定
	【反省点・課題】	介助員の知識・力量を高めるために、計画的な研修の実施や教材が必要である。また、近年、支援の必要な児童が増加の傾向にあり、加配保育士や介助員の確保が困難になってきている。障がいの程度の緩和された児童がいる一方、平成29年度の判定では中度から重度になった児童もあり、長期的な視点での見守りが重要となっている。	A 順調に進んだ

⑤事業の評価	【改善の方向性】	教育委員会と連携し、研修会の実施や長期的な見守りのある支援の充実を図る。また、保育士及び介助員を確保するため、年間を通じて募集するなどの対策を講じる。
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切